

## 令和6年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市コミュニティセンター	施設所管課	市民生活部くらし防災課 0480-43-1111（内線586）
指定管理者名	日本環境マネジメント株式会社	指定期間	令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで（1年目）

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価
<b>I 履行の確認</b>			
<b>1 施設全般管理運営に関する業務</b>			
（1）職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
（2）職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
（3）利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
<b>2 施設利用に関する業務</b>			
（1）利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか	3	3
（2）利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
<b>3 保守点検並びに清掃等業務等</b>			
（1）保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
（2）清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
（3）保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
（4）修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
<b>4 事業の実施に関する業務</b>	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか	3	3
<b>5 個人情報の取扱い</b>	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
<b>6 管理目標 ②</b>	設定目標に対する結果は妥当であるか	3	3
<b>7 緊急対応</b>	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
<b>8 その他</b>			
（1）記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
（2）経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
（3）意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3
（4）報告書等	報告書等が適切に提出されているか	3	3
<b>II サービスの質の評価</b>			
<b>1 利用者満足度</b>	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
<b>2 維持管理業務</b>	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
<b>3 運営業務</b>	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
<b>4 指定事業・自主事業</b>	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
<b>5 その他</b>	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）	3	3
<b>III サービスの安定性の評価</b>			
<b>1 事業収支 ③</b>	事業収支は妥当であるか	3	3
<b>2 経営状況分析指標 ④</b>	経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
<b>3 団体等の経営状況 ⑤</b>	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか		
<b>合計得点</b>	<b>I・II・IIIの評価点数の合計（得点／満点）</b>	72 96	72 96

<b>総括</b>	指定管理者の自己評価	新たな取組みとしてボランティア室を自習室として開放することで、利用が少なかった若年層にも利用いただき、施設を知っていただくきっかけを作った。また、人気の高いヨガ教室を増やすほか、利用団体と連携し事業を実施する事で活性化に取り組んだ。発生する不具合や指摘事項は地元業者に優先的に発注するほか、LED化や手すりの設置など利便性の向上にも努めた。軽微な修繕は自社で実施することで経費の効率化に努めた。
	施設所管課の評価	利用者のニーズを考慮しながら新たな自主事業を実施するなど利用促進に積極的に取り組んでいた。また、利用者アンケートの結果において、大変満足・満足との回答が清掃状況では98.1%、整備状況では87.0%を占めており、総合満足度も91.7%と高い評価を得ていることから適切に管理運営がなされていたことが伺える。

総合評価	特記事項	<b>A</b>
------	------	----------

評価区分	評価点数	4 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である	
	2 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある	
	1 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である	
	総数	S 極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である）
総合評価	A 良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）	
	B 概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）	
	C 改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）	

## 令和6年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市営釣場 神扇池	施設所管課	建設経済部商工観光課 0480-43-1111（内線592）
指定管理者名	公益社団法人幸手市シルバー人材センター	指定期間	令和6年4月1日から 令和9年3月31日まで（1年目）

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価
<b>I 履行の確認</b>			
<b>1 施設全般管理運営に関する業務</b>			
（1）職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	4	4
（2）職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
（3）利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
<b>2 施設利用に関する業務</b>			
（1）利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか	3	3
（2）利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
<b>3 保守点検並びに清掃等業務等</b>			
（1）保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
（2）清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
（3）保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
（4）修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	4	4
4 事業の実施に関する業務	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか	3	3
5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
6 管理目標 ②	設定目標に対する結果は妥当であるか	3	3
7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
<b>8 その他</b>			
（1）記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
（2）経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
（3）意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	4	4
（4）報告書等	報告書等が適切に提出されているか	3	3
<b>II サービスの質の評価</b>			
1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	4
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
4 指定事業・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
5 その他	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）	4	4
<b>III サービスの安定性の評価</b>			
1 事業収支 ③	事業収支は妥当であるか	3	3
2 経営状況分析指標 ④	経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
3 団体等の経営状況 ⑤	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
合計得点	I・II・IIIの評価点数の合計（得点／満点）	79 100	80 100

<b>総括</b>	指定管理者の自己評価	別紙のとおり
	施設所管課の評価	別紙のとおり

総合評価	特記事項	<b>A</b>
------	------	----------

評価区分	評価点数	4 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
	総数	S 極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である）
総合評価	A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）
	C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）

# 令和6年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

幸手市営釣場 神扇池

## 総括（指定管理者の自己評価）

職員体制につきましては、前管理者のもとで雇用されていた職員全員と面談をし、当センターの条件に応じた方を採用しました。その中にはアドバイザー業務を担当する者もおりましたが、アドバイザーとしての雇用は辞めております。必要以上の職員配置を避け、適正なシフト管理等を行い、人件費の抑制を図りました。

利用者数及び利用料金の目標については、事業計画作成時のものを採用しております。この目標にあたっては、令和4年度までの実績をもとに設定しましたが、その後、令和5年度の実績が判明し、想定以上の減少になっていました。しかしながら、当センターとしては、事業計画時の目標のまま管理運営することにしました。利用促進の一環として、幸手産コシヒカリの販売やふるさと納税の協力事業者登録、釣り大会の際に甘酒等を提供するなど、今までにない取り組みを行ったところです。結果として、当センターの利用者数の目標にはとどかなかったものの令和5年度の実績を上回ることができたところです。

修繕について、仕様書に記載されている設備等を確認したところ、ほとんどが機能していないか、若しくは不良の状態でした。池の状況（ふなの状態）等を考え、予算を超えて執行しております。

市や関係機関との意思疎通ですが、設備や備品等の仕様書との乖離について、市に報告するとともに、今後の方向性等を調整いたしました。その他、教室の開催やフナの放流、物品の仕入れ等、関係機関との調整も想定以上に行うことができたと考えております。

サービスの質ですが、自主事業の釣り大会について、経費的な面を考慮し、前管理者のときよりも値上げをしましたが、大きな混乱もなく実施することができました。その他、特質する取り組みといたしましては、前述したとおり、農産物（幸手産コシヒカリ）の販売やふるさと納税を始めました。又八代小学校の児童を対象にした教室の開催。高年齢者への就業機会の提供ということで、シルバー会員に仕事を依頼しております。

指定管理期間の初年度ということもあり、利用に際してお客様にご不便等をお掛けする場合も想定しておりましたが、職員への指示・連携等を密にすることで、大きな混乱もなく運営することができました。令和6年度の評価については、良好な管理運営ができたと考えております。

## 総括（施設所管課の評価）

施設の老朽化により水質の悪化や利用者の利便性が低下しているなか、指定管理者において水中ポンプの交換や各種設備のメンテナンスを行い、神扇池の水質を改善し、施設の利便性を向上させるなど、積極的にサービスの質を高める取り組みを行っていました。また、コロナ禍以前から続いている釣り人口の減少のなか、自主事業として釣り大会の実施や、へら鮒釣りの体験教室、八代小学校の児童へ体験教室など新規の利用者が利用しやすくなるような事業を実施し、利用者からのアンケートで良い評価を得ております。老朽化している施設で厳しい維持管理を求められる状況において、設備のメンテナンスや各種事業の実施などによるサービス向上の効果もあり、令和5年度より施設の利用者数及び収入を増加させることができました。このような適切な施設の維持管理やサービス向上ための取り組みは評価できます。

## 令和6年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市民文化体育館	施設所管課	教育部社会教育課 0480-43-1111（内線645）
指定管理者名	日本環境マネジメント株式会社	指定期間	令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで（1年目）

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価
<b>I 履行の確認</b>			
<b>1 施設全般管理運営に関する業務</b>			
(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	4
<b>2 施設利用に関する業務</b>			
(1) 利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか	3	3
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
<b>3 保守点検並びに清掃等業務等</b>			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
<b>4 事業の実施に関する業務</b>	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか	3	3
<b>5 個人情報の取扱い</b>	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
<b>6 管理目標 ②</b>	設定目標に対する結果は妥当であるか	3	3
<b>7 緊急対応</b>	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
<b>8 その他</b>			
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3
(4) 報告書等	報告書等が適切に提出されているか	3	3
<b>II サービスの質の評価</b>			
<b>1 利用者満足度</b>	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
<b>2 維持管理業務</b>	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
<b>3 運営業務</b>	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
<b>4 指定事業・自主事業</b>	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	4
<b>5 その他</b>	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）	3	3
<b>III サービスの安定性の評価</b>			
<b>1 事業収支 ③</b>	事業収支は妥当であるか	3	3
<b>2 経営状況分析指標 ④</b>	経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
<b>3 団体等の経営状況 ⑤</b>	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
<b>合計得点</b>	<b>I・II・IIIの評価点数の合計（得点／満点）</b>	76 100	77 100

<b>総括</b>	指定管理者の自己評価	トレーニング室にのさらなる活性化に向けて、ARトレーニングマシンの導入やプログラムの見直しを行い、利用者数は前年度を上回った。不具合や指摘事項は一覧で管理し、危険性・適法性・利便性の3点から評価を行い、市と協議のもと緊急性の高い案件を優先して実施した。軽微な修繕は施設スタッフで実施することで経費の効率化も図った。また、電気事業者の見直しも行うことで、さらなる経費の縮減に努めた。
	施設所管課の評価	別紙のとおり

<b>総合評価</b>	特記事項	<b>A</b>
-------------	------	----------

<b>評価区分</b>	評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である	
		3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である	
		2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある	
		1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である	
		総数	S	極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である）
		総合評価	A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）
		B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）	
		C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）	

# 令和6年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

幸手市民文化体育館

## 総括（施設所管課の評価）

協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。

施設の管理面については、適宜必要な修繕を実施していたほか、電気事業者の見直しを行う等、経費削減に努めていた。また、ARトレーニングマシンを導入し、利用者のサービス向上の取り組みを行い、トレーニング室の利用者が増加するなどの成果が出ている。

運営面においては、自主事業として、バドミントンの元日本代表潮田玲子さんによるアウトリーチ事業や、劇団四季の公演の招聘など、魅力のある質の高い事業を実施し、住民の福祉の増進に寄与したことを評価したい。

## 令和6年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市立武道館	施設所管課	教育部社会教育課 0480-43-1111（内線645）
指定管理者名	日本環境マネジメント株式会社	指定期間	令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで（1年目）

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価
<b>I 履行の確認</b>			
<b>1 施設全般管理運営に関する業務</b>			
（1）職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
（2）職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
（3）利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
<b>2 施設利用に関する業務</b>			
（1）利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか	3	3
（2）利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
<b>3 保守点検並びに清掃等業務等</b>			
（1）保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
（2）清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
（3）保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
（4）修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
<b>4 事業の実施に関する業務</b>	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか	3	3
<b>5 個人情報の取扱い</b>	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
<b>6 管理目標 ②</b>	設定目標に対する結果は妥当であるか	3	3
<b>7 緊急対応</b>	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
<b>8 その他</b>			
（1）記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
（2）経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
（3）意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3
（4）報告書等	報告書等が適切に提出されているか	3	3
<b>II サービスの質の評価</b>			
<b>1 利用者満足度</b>	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
<b>2 維持管理業務</b>	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
<b>3 運營業務</b>	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
<b>4 指定事業・自主事業</b>	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
<b>5 その他</b>	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）	3	3
<b>III サービスの安定性の評価</b>			
<b>1 事業収支 ③</b>	事業収支は妥当であるか	3	3
<b>2 経営状況分析指標 ④</b>	経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
<b>3 団体等の経営状況 ⑤</b>	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
<b>合計得点</b>	<b>I・II・IIIの評価点数の合計（得点／満点）</b>	75 100	75 100

<b>総括</b>	指定管理者の自己評価	引続き武道団体と協力し、武道の体験教室を開催した。参加者が気軽に武道に触れ、始めるきっかけづくりとすることで市における武道の振興に取り組んだ。夏場の暑さ対策として剣道場に遮光・遮熱フィルムを施工し利用者から要望のある暑さ対策に取り組んだ。館内のLED化にも積極的に取組み省エネ化に努めた。本年度は、剣道場、弓道場の室内、矢道及び的場をLED化したことで館内の主要部分全てがLEDとなった。
	施設所管課の評価	協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。 施設の管理面については、適宜必要な修繕を実施していたほか、照明のLED化を行うなど、管理面において利用者の利便性向上への取り組みがみられた。また、運営面では、自主事業として、武道団体連絡協議会との連携により武道体験教室等を計画内の水準で実施した。

総合評価	特記事項	<b>A</b>
------	------	----------

評価区分	評価点数	4 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である
	総合評価	S 極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である） A 良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外） B 概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている） C 改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）

## 令和6年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手総合公園 外6公園	施設所管課	都市計画課・社会教育課 0480-43-1111（内線562・645）
指定管理者名	シンコースポーツ株式会社	指定期間	令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで（1年目）

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価
<b>I 履行の確認</b>			
<b>1 施設全般管理運営に関する業務</b>			
(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	4
<b>2 施設利用に関する業務</b>			
(1) 利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか	3	3
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
<b>3 保守点検並びに清掃等業務等</b>			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
<b>4 事業の実施に関する業務</b>	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか	3	3
<b>5 個人情報の取扱い</b>	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
<b>6 管理目標 ②</b>	設定目標に対する結果は妥当であるか	3	3
<b>7 緊急対応</b>	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
<b>8 その他</b>			
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3
(4) 報告書等	報告書等が適切に提出されているか	3	3
<b>II サービスの質の評価</b>			
<b>1 利用者満足度</b>	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
<b>2 維持管理業務</b>	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
<b>3 運営業務</b>	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	4	3
<b>4 指定事業・自主事業</b>	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4
<b>5 その他</b>	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）	4	4
<b>III サービスの安定性の評価</b>			
<b>1 事業収支 ③</b>	事業収支は妥当であるか	3	3
<b>2 経営状況分析指標 ④</b>	経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
<b>3 団体等の経営状況 ⑤</b>	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
<b>合計得点</b>	<b>I・II・IIIの評価点数の合計（得点／満点）</b>	79 100	78 100

<b>総括</b>	指定管理者の自己評価	別紙のとおり
	施設所管課の評価	別紙のとおり

<b>総合評価</b>	特記事項	<b>A</b>
-------------	------	----------

<b>評価区分</b>	評価点数	4 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である	
	2 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある	
	1 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である	
	総数	S 極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である）
<b>総合評価</b>	A 良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）	
	B 概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）	
	C 改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）	

# 令和6年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

幸手総合公園 外6公園

## 総括（指定管理者の自己評価）

全体を通して適切に指定管理業務を行うことができました。

- ・施設設備について、B&G海洋センターのLED化を実施、競技環境の向上・電気使用量の削減に努めました。
- ・施設利用状況について、R5年度に対して、利用者数、稼働率ともに増加となりました。特にB&G海洋センターは2,323名増加と大きく、LED化による競技環境の向上が要因と考えております。
- ・自主事業教室について、B&G海洋センターにて、一般向けヨガ教室を2教室、子ども向け体操教室を8教室、年間通して実施、市民の健康増進・青少年の健全育成に努めました。
- ・B&G財団事業について、さつてBG塾の開催、夏休み期間中のお子様へ、学習支援・体験学習の機会を提供いたしました。
- ・維持管理について、台風による倒木や枯損木の伐採・撤去を適時実施いたしました。その他維持管理業務に関しても安心・安全に施設をご利用いただけるよう努めました。

## 総括（施設所管課の評価）

- ・年間を通して、適切な管理運営を実施できました。
- ・施設利用状況について、R5年度と比較して利用者数、稼働率ともに増加となったことは、施設の管理業務及び利用促進業務が適切に実施されたことによるものだと考えられます。
- ・突風による倒木対応、盗難被害対応など、不測の被害が多い年でしたが、迅速かつ適切に対応していただきました。
- ・B&G財団が開催する事業やイベントに多数参加し、『特A』評価を取得できたことは評価できます。

## 令和6年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市立図書館 外1施設	施設所管課	教育部社会教育課 0480-43-1111（内線643）
指定管理者名	株式会社 図書館流通センター	指定期間	令和2年4月1日から 令和7年3月31日まで（5年目）

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価
<b>I 履行の確認</b>			
<b>1 施設全般管理運営に関する業務</b>			
（1）職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
（2）職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
（3）利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	4
<b>2 施設利用に関する業務</b>			
（1）利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか	3	3
（2）利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか		
<b>3 保守点検並びに清掃等業務等</b>			
（1）保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
（2）清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
（3）保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
（4）修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
<b>4 事業の実施に関する業務</b>	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか	3	3
<b>5 個人情報の取扱い</b>	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	4	3
<b>6 管理目標 ②</b>	設定目標に対する結果は妥当であるか	3	3
<b>7 緊急対応</b>	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
<b>8 その他</b>			
（1）記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
（2）経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
（3）意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3
（4）報告書等	報告書等が適切に提出されているか	3	3
<b>II サービスの質の評価</b>			
<b>1 利用者満足度</b>	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	4
<b>2 維持管理業務</b>	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
<b>3 運營業務</b>	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	4	3
<b>4 指定事業・自主事業</b>	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
<b>5 その他</b>	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）	3	3
<b>III サービスの安定性の評価</b>			
<b>1 事業収支 ③</b>	事業収支は妥当であるか	3	3
<b>2 経営状況分析指標 ④</b>	経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
<b>3 団体等の経営状況 ⑤</b>	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか	3	3
<b>合計得点</b>	<b>I・II・IIIの評価点数の合計（得点／満点）</b>	75 96	74 96

<b>総括</b>	指定管理者の自己評価	別紙のとおり
	施設所管課の評価	協定書に基づく図書館業務については、適切に実施しており、自主事業についても積極的に新規事業を実施し、利用促進を図っていたことは評価できる。また、利用者アンケート集計結果の総合評価においては、満足及びおおむね満足の割合は高く、満足度も改善している。今後も研修等を通じて職員のレベルアップに努め、社会教育施設として市民サービスの向上や安全で快適な読書空間の維持に努めるよう期待している。

<b>総合評価</b>	特記事項	<b>A</b>
-------------	------	----------

<b>評価区分</b>	評価点数	4 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
		3 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
		2 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
		1 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
		S 極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である）
	<b>総合評価</b>	A 良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）
	B 概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）	
	C 改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）	

# 令和6年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

幸手市立図書館 外1施設

## 総括（指定管理者の自己評価）

1 令和6年度市民アンケートを観ると満足、やや満足について、本館については98.5%香日向分館については、100%、Webでは91.8%という評価を頂いています。これは、職員のモチベーションにも良い影響を与えていると考えております。一方で、ご意見の中にはスタッフ対応に対して、少数ではありますが厳しいご意見も頂いております。これに対しては、お掛けするお言葉を含め、対応等研究しておいりたいと考えております。「民間であるTRCだからこそ」という意気込みで、スタッフ一人一人が主体となる取り組みを心がけています。また、一般、児童、相互貸借等ジャンルの区別や仕事の内容等オールラウンドの職員を目指して取り組んでいます。

2 ここ3年の物価上昇に対応すべく、消耗品の購入、光熱水費の節約等、職員全員一丸となり取り組み、一定の成果も出ていると考えています。

3 「少数精鋭、一人一人がプロ意識を持つ」をスローガンに現場の最先端NO.1を目指しています。また、週休2日を基本に職員全員で幸手市の文化向上に取り組んでいます。

4 令和5年度の幸手図書館設置90周年第1回図書館まつりに代表される各種イベントにも取り組み、違った世代違った市民の皆様に来館いただくよう取り組んでおります。6年度においては、子ども対象に実施していたお金についての講演会を大人の方を対象とする講演会の開催を会社の推薦講演に手を挙げて取り組んでみました。また、県の協力によるメンタルヘルスの開催も行い深刻な状況の方々にも対応をしました。さらに、香日向分館での集客を目的に香日向分館でのイベントにも力を入れていく計画です。6年度は、市民に根強い人気の文学講座の開催、よしたけしんすけパネル展も開催、第2回目のこどものための100冊の展示も行いました。さらに、7年度は、前年度に香日向分館でも評価を得た文学講座を2回分館で開催する予定で、準備に取り組んでおります。

5 このように幸手市民老若男女が読書に興味を持てるよう様々な視点から市民にアピールしていく所存で取り組んでおります。

## 令和6年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市障害者自立支援施設	施設所管課	健康福祉部社会福祉課 0480-43-1111（内線709）
指定管理者名	幸手市社会福祉協議会	指定期間	令和3年4月1日から 令和8年3月31日まで（4年目）

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価
<b>I 履行の確認</b>			
<b>1 施設全般管理運営に関する業務</b>			
(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	/	/
<b>2 施設利用に関する業務</b>			
(1) 利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか	3	3
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	/	/
<b>3 保守点検並びに清掃等業務等</b>			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
<b>4 事業の実施に関する業務</b>			
基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか			
<b>5 個人情報の取扱い</b>			
個人情報の取り扱いが適正に行われたか			
<b>6 管理目標 ②</b>			
設定目標に対する結果は妥当であるか			
<b>7 緊急対応</b>			
事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか			
<b>8 その他</b>			
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3
(4) 報告書等	報告書等が適切に提出されているか	3	3
<b>II サービスの質の評価</b>			
<b>1 利用者満足度</b>			
利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか			
<b>2 維持管理業務</b>			
日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか			
<b>3 運営業務</b>			
備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか			
<b>4 指定事業・自主事業</b>			
実施された事業内容は、質の高いものであったか			
<b>5 その他</b>			
特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）			
<b>III サービスの安定性の評価</b>			
<b>1 事業収支 ③</b>			
事業収支は妥当であるか			
<b>2 経営状況分析指標 ④</b>			
経営状況分析指標の結果は妥当であるか			
<b>3 団体等の経営状況 ⑤</b>			
団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか			
<b>合計得点</b>		<b>I・II・IIIの評価点数の合計（得点／満点）</b>	
		66	66
		88	88

<b>総括</b>	指定管理者の自己評価	別紙のとおり
	施設所管課の評価	別紙のとおり

<b>総合評価</b>	特記事項 別紙のとおり	<b>A</b>
-------------	-------------	----------

<b>評価区分</b>	評価点数	4 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
		3 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
		2 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
		1 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
		S 極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である）
	<b>総合評価</b>	A 良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）
	B 概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）	
	C 改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）	

# 令和6年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

幸手市障害者自立支援施設

## 総括（指定管理者の自己評価）

- ・利用者一人ひとりの特性に配慮した個別支援計画を作成し、適正な支援を行った。
- ・就労継続支援B型の基本となる作業では、年間をとおして切れ目なく、利用者の特性に応じた作業種を提供することができた。また、施設外就労については、権現堂公園2号・3号公園のトイレ清掃を受注し、利用者の就労機会の確保及び工賃の向上へと繋がった。
- ・施設の利用にあっては、検温やマスクの着用、手指消毒を継続して行い、安心安全な施設の運営に努めた。また、利用者がコロナウイルスやインフルエンザの感染症等に罹患した場合は、ご家族との連絡を密に行い、健康状態の把握に努めた。
- ・施設内の樹木の剪定や清掃、消毒、軽微な修繕は職員が行い、経費削減に努めた。
- ・さくらの里の所外活動として栃木県方面において宿泊研修や工場見学を実施した。所外での活動をとおして利用者に社会体験の場を提供するとともに、就労意欲の向上を図った。また、工場見学については、利用時間内で実施し、通常どおり送迎バスを運行することで保護者の負担軽減にも配慮した。
- ・なのはなの里の所外活動では、利用者の特性を考慮し、2グループに分かれて鉄道博物館を見学した。これまでは、移動手段として市有バスを利用してきたが、今年度は、初めての試みとして公共交通機関（電車）を利用したことによって利用者参加数の増加へと繋がり、充実した社会体験を培う場となった。また、桜やあじさい、曼珠沙華、水仙等、権現堂桜堤を中心にドライブで見学に出掛け、四季を感じることができ活動を実施した。
- ・施設内行事として、お楽しみ会（8月、3月）、クリスマス会、新年会、音楽会（毎月実施）を実施した。利用者の障がい特性に配慮し、全員が参加できるような工夫を凝らしてレクリエーションを企画・実施した。
- ・なのはなの里では、令和6年5月から、利用者から要望があがっていた送迎サービスを開始した。送迎サービスの実施により、利用者の出席率及び満足度の向上が図られた。

## 総括（施設所管課の評価）

- ・両施設において、各利用者における個別支援計画の作成及び振返りに伴う面談を全ての利用者に対して十分な時間を確保して実施するとともに、全ての利用者に対して連絡帳を活用し、施設における日々の活動内容の報告や家庭内での出来事等情報収集に努め、適宜利用者ニーズを把握するなど、そのニーズの達成に向けた検討や取組みを行った。
- ・送迎の実施に対する要望は年々強くなっていること近年の状況にあり、特になのはなの里の利用者は障がいの程度が重度であることから、送迎を実施してほしいと話を受ける機会が多々あった。このような経緯を受けて、令和5年度末から送迎実施に向けた検討を重ね、なのはなの里の利用者のうち特に優先順位の高い利用者に対して、令和6年5月から送迎の開始を行った。この送迎の開始によって、利用者満足度の向上を図れ、併せて利用者の施設利用率の向上へと繋げることができた。
- ・さくらの里では、就労継続支援B型の基本となる施設内での作業について、利用者の特性に合った作業種の提供が図れた。また、施設外就労も継続し、就労機会の提供及び利用者の工賃向上と併せて、社会性向上の機会の確保に努めた。
- ・感染症対策を図りながら、宿泊研修や所外活動を積極的に行い、四季を折り込んだイベントを実施するなど、利用者の外出機会の確保と社会性の向上に努めた。

## 総合評価（特記事項）

各利用者の特性に応じた対応に努め、全ての利用者に対して十分な時間を確保した丁寧な面談を実施するなど、個別のニーズに応じた支援を行うことができた。  
施設の利用に係る苦情は年間をとおして1件もなく、送迎に関する要望への対応を行うなど、施設利用に係る一定の評価を得ることができた。